NUMO
原子力発電環境整備機構

2019年度に実施した取組み等について

2020年2月15日
原子力発電環境整備機構（NUMO）

次　第

１.放射性廃棄物ＷＧで示された今後の方針（関心グループの拡大）

２.これまでの活動を通じて学習団体の皆さまから寄せられたご意見

３.皆さまからのご意見を受けて2019年度に実施した取組み

４.2020年度の活動に向けて

1.放射性廃棄物ＷＧで示された今後の方針（関心グループの拡大）

放射性廃棄物ＷＧ(11/29)で示された今後の方針（関心グループの拡大）を踏まえ、今後も、学習団体の皆さまに「より深く知りたい」と関心を持っていただけるよう、取り組んでまいります。

（参考）放射性廃棄物ＷＧで示された今後の方針

「より深く知りたい」**関心グループの数**を**2020年目途**に全国で**100程度に拡大**（現状約50）

◆ これまでの対話活動の中で、自らの地域に処分場を誘致するか否かではなく、**社会全体で解決すべき課題との観点**から、「より深く知りたい」と主体的に活動されているグループが**全国各地に広がりつつある状況**。

学習団体主催のシンポジウム

地層処分学習教材を使った授業の模様

◆ **経済団体や行政・議会関係者を含めた幅広い層**にも関心を持っていただけるよう取り組むことで、**2020年目途**に関心グループを**全国で100程度に拡大**することを目指して取り組んでいく。

1-2.放射性廃棄物ＷＧで示された今後の方針（関心グループの拡大）

（参考）放射性廃棄物ＷＧ（11/29）で示された今後の方針の全体像

年内～

＜フェーズ１＞

① **現役世代や若年層**等を含めた、**幅広い層の理解を促進**

② **「より深く知りたい」関心グループ**に対し、ニーズに応じた**情報提供を強化**

2020年目途

＜フェーズ２＞

①「より深く知りたい」**関心グループの数**を**2020年目途**に全国で**100程度に拡大**（現状約50）

② 地域の**発展ビジョンづくりを積極的に支援**（処分事業に伴う地域発展イメージの共有等）

2020年～

＜フェーズ３＞

① 関心を示していただいた複数地の**文献調査実施を全面的に支援**

（地域からの応募、または、地域の状況等を踏まえて国から調査を申入れ）

② 文献調査を実施する地域の**発展ビジョンの具体化**に最大限貢献

（現地拠点をベースとして、地域の発展ビジョンを具体化（医療・教育防災の充実、企業誘致、観光振興等に貢献））

２．これまでの活動を通じて学習団体の皆さまから寄せられたご意見

１．活動のアイデア

・関心を高めるためには、ＦＵＮ（楽しいという感覚）を取り入れて、裾野を広げていくことも重要ではないか。
・放射能というものは私たちの社会が発展していく過程で必ず発生してしまうものということを伝える。
・地層処分だけではなく、エネルギー・原子力の関連情報を含めて学ぶ機会を提供する。
・地学や放射線など科学を幅広く、正しく知る機会の提供。
・経済効果などを説明するなど、具体的なことを伝えた方がよい。
・子供や孫の世代に先送りして良いのかという、現世代としての責任を問う場を設定してはどうか。

２．次世代への取り組み

・活動している方の高齢化が深刻な課題。若年層への取り組みが急務。
・実験も未就学児・若年層でも簡単にできる工夫が必要。
・学生への働きかけるにしても、まずは教師の理解が必要。
・より理解しやすいビデオ（中高生対象向けた場合）があったらよいと思う。
・学校への働きかけは、先生だけでなく、校長先生やＰＴＡの許可が必要。
・修学旅行の視察先として、深地層研究所などを回り体感させる。
・ゲーム、ＩＴツールの活用、ＷＥＢやＳＮＳなどによる理解活動の促進、教育プログラム開発。

3．エネ庁、NUMOへのご意見

・実際に処分地を受け入れた北欧の方々の想いを知りたい。
・北欧の施設など、海外視察について要望が多い。事業化、視察枠の拡大などを検討いただきたい。
・団体の交流会を地域別に実施してほしい。
・団体同士の活動を連携して実施したり、NUMOの対話型説明会と連携したワークショップ、イベント活動の実施などを工夫出来るのではないか。
・地層処分にとどまらず、他の地下施設など、地下の活用・安全性を広く学ぶ視察先を拡大してもらいたい。
・理解を深めるための複数回視察や、段階的に学ぶことのできるメニューの開発を考えてもらいたい。
・事後広報用に、視察先の写真データの提供などを行い、情報が拡散するように工夫すべき。
・他団体の活動状況などの情報提供により、活動の参考としたり、励みとすることになる。
・エネ庁、NUMO行事の年間スケジュールを提示いただくことで、計画的な団体活動や他団体との交流を実施しやすくなる。

3.皆さまからのご意見を受けて、2019年度に実施した取組み

・学習団体の皆さまからのご意見を受けて、2019年度は「ブロック別交流会」「海外先進地視察」「次世代からの提言コンテスト」などの取組みを実施しました。

(1)ブロック別交流会の開催

エネ庁と共催でブロック別交流会を全国６ブロックで開催。
関連施設の見学会や意見交換会・グループワークなどを実施し、活動の活性化・ネットワーク化を図った。

＜開催実績＞

・東北ブロック(6/21～22　参加者13名)
（開催場所）岩手県久慈市　　（見学施設）久慈国家石油備蓄基地
・北海道ブロック(7/27　参加者11名)
（開催場所）北海道札幌市
・四国ブロック(8/23 参加者10名)
（開催場所)愛媛県今治市　　(見学施設) 菊間国家石油備蓄基地
・関東ブロック(10/6　参加者12名)
(開催場所)埼玉県さいたま市　　(見学施設)首都圏外郭放水路
・中部・近畿ブロック(10/26 参加者18名)
(開催場所)福井県美浜町　　(見学施設)福井県年縞博物館
・中国・九州ブロック(12/6 参加者10名)
(開催場所)鹿児島県鹿児島市　(見学施設)薩摩金山蔵

意見交換会の模様（ブロック別交流会）

地下施設見学の模様（ブロック別交流会）

3-2.皆さまからのご意見を受けて、2019年度に実施した取組み

(2)海外先進地視察

・学習団体の皆さまのご意見を受けて、地層処分が先行するフィンランド・スウェーデンの現地視察を実施（9/1～9/8）。

・視察成果報告会を開催し(10/5)、視察での気付きを、他の学習団体の皆さまにも共有。スウェーデンの処分実施主体SKB社（スウェーデン核燃料・廃棄物管理会社）の関係者も招いて、スウェーデンにおける対話・理解活動等の経験を広く共有。

＜北欧を視察したメンバーの皆さまの気付き＞

✓スウェーデンで、失敗を糧に地域と連携しながら事業を進めてきたことを聞き、処分事業と地域がどのように共生していくのかを地域の方々としっかり議論することの重要性に気づいた。

✓「この自治体で処分事業を担うことに誇りを感じた」というフィンランドの市長の言葉に感銘を受けた。地域での冷静な議論を経て、賛成の人も反対の人も、議論の結果を尊重し、前を向いて一緒に歩んでいく姿に感動した。

＜SKB社関係者が語った経験＞

✓スウェーデンでも、原子力利用に慎重な姿勢の方々もいるが、そうした方々にも施設見学等に案内し、対話を繰り返すことで、処分事業への理解を深めて頂けるよう努めている。

✓女性に慎重な意見が多いとの世論調査を踏まえ、女性のコミュニケーションスタッフを増やす、SNS（Instagram/Facebook）を活用する等、親しみやすく、馴染みやすい広報内容になるよう工夫している。

（海外先進地視察報告会）

（来日したSKB関係者との対話）

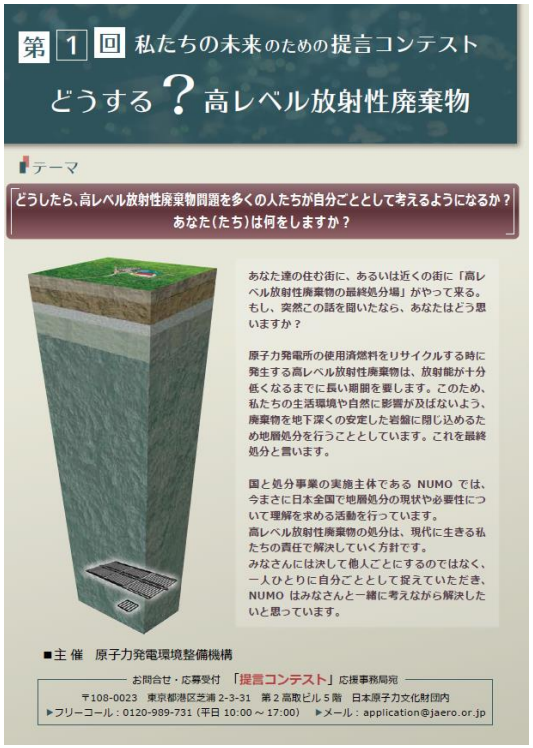
3-3.皆さまからのご意見を受けて、2019年度に実施した取組み

(3)次世代からの提言コンテスト

・次世代層が自分ごととしてメッセージを発信し、広く社会全体の関心喚起、理解促進につなげることを目的に「私たちの未来のための提言コンテスト」を開催。

＜提言コンテストの概要＞

1．名称：「私たちの未来のための提言コンテスト～どうする？高レベル放射性廃棄物～」
2．主催：原子力発電環境整備機構
3．募集テーマ
「どうしたら、高レベル放射性廃棄物問題を多くの人たちが自分ごととして考えるようになるか？あなた（たち）は何をしますか」
4．対象者
次世代層を以下の２つのカテゴリーに分けて募集。
・中学生、高校生、高専３年生までの個人、グループ
・高専４年生以上、大学生、大学院生の個人、グループ（研究室、サークル等）
5．募集期間
募集期間：2019年12月17日～1月27日



4.2020年度の活動に向けて

・ブロック交流会でのご意見、提言コンテストでいただいた次世代からのメッセージについては、しっかりと受け止め、2020年度の活動に活かしてまいります。

・皆さまの活動の輪が、さらに「広がって・つながって・深まる」ことを期待するとともに、これからも、皆さまの学習活動をしっかりとサポートしてまいります。

・皆さまの活動が多くの国民の皆さまの目に触れることを願うとともに、今後もいろいろな場面で情報発信させていただくことにつきまして、ご理解・ご協力をお願いいたします。

これからも、
さまざまな形で
情報を発信
していきます

以下のＱＲコードから動画やいろいろなコンテンツが確認できます

海外先進地視察
報告会_視察報告

海外先進地視察
報告会_SKB講演_

学習支援事業

NUMO
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ

若手職員による解説動画
～みなさんとともに考えたい
地層処分～

エネルギー教育支援サイト